



創業明治 40 年、100 年以上の歴史がある 3 代目社長の杉本さん。先々代は大工の棟梁でしたが、先代（現会長の杉本稔氏）がこれからは鉄筋コンクリート建築の時代だとの方針で昭和 35 年に法人設立され現在の杉林建設が始まったそうです。高度成長期とともに成長してきましたが、バブル崩壊以後、耐震強度の偽装問題なども重なり建築業界にとっては冬の時代になってきたんじゃないかと話されてました。

主な事業内容は、公共建築事業、一般建築、不動産事業を営業されていますが、その中でも価格競争にならないようなものを特徴を出して造っていかないとこれからの時代は駄目じゃないかとのことで数寄屋造りを取り入れた木造住宅に力を注いでいると熱く語られました。

杉林建設の営業方針には 3 本の柱があるとのこと。1 本目の柱は完成度の高い施工力。2 本目の柱が設計・施工・監理と一貫して行う事。そして 3 本目の柱が数寄屋造りのオーダーメイドに取り組んでおられるとのことでした。

杉本さんの夢はお聞きしたところ、「社員には、仕事を通して、“自分は人に必要とされる人間になっているんだ。”というやりがいの中に、幸せを感じてもらうことだ。」と言っておられました。「財を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上」と教えて頂きました。

青年部に入会されたのは平成元年。チャーターメンバーでおられます。商工会議所の議員でもある先代から新たに青年部が出来ると聞かされて入会されたそうです。青年部の良さはメンバー同士で商売について話し合え、お互いに切磋琢磨してステップアップして行ける事が素晴らしいとおっしゃってました。青年部で築いてきた人脈と色々な経験を今後のメンバーにも伝えていきたいとのこと。平成 14 年度会長になられた時にエココイン「eco じゃん」実験事業を企画され社会貢献活動に取り組みられました。

今でも多くの勉強会に出席され未来に突き進んでいく杉本さんのお話を伺い、良き先輩に巡り合えた事を誇りに思いました。



終始にこやかなお顔が印象でした



社員さんにはやりがいの中に幸せを感じてほしい



「eco じゃん」実験事業に使用されたエココイン